

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42353
 アドレス:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成19年7月19日

リコール届出番号	1915	リコール開始日	平成19年7月20日	
届出者の氏名又は名称	本田技研工業株式会社 代表取締役 福井 威夫		問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-112010	
不具合の部位（部品名）	①原動機（エキゾーストマニホールド） ②乗車装置（ドアロック） ③車枠及び車体（フロントロアクロスメンバ）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①ターボチャージャー付車両において、エキゾーストマニホールドの材質が不適切なため、登坂路走行を頻繁に繰り返し行くと、熱による膨張・収縮で亀裂が生じ、排出ガスが漏れるものがある。 ②左側スライドドアの車室内ハンドルの操作を伝達するリンク機構のプレス成型が不適切なため、リンク機構が円滑に作動せず、車室内からスライドドアを開けた後、リンク機構の一部が戻らないものがある。そのため、スライドドアを閉めてもドアラッチが開放状態のままとなり、最悪の場合、走行中に左側スライドドアが開くおそれがある。 ③サイドフレームとフロントロアクロスメンバとの溶接が不適切なため、溶接部の強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、走行時の振動等により当該溶接部が剥がれ、フロントロアクロスメンバの位置がずれて、最悪の場合、前車輪を取り付けているロアアーム後端部が抜け、走行不能となるおそれがある。			
改善措置の内容	①全車両、エキゾーストマニホールド一式を対策品と交換する。 ②全車両、左側スライドドアのハンドルリンク機構一式を良品と交換する。 ③全車両、フレームとフロントロアクロスメンバの溶接箇所を点検し、フロントロアクロスメンバの溶接が剥がれているものは板金修理を実施する。溶接箇所に亀裂があるものは亀裂部を溶接する。点検結果剥がれや亀裂がないものはフロントロアクロスメンバの外側合わせ面に補強用リベット留めを追加する。			
不具合件数	①18件 ②7件 ③6件	事故の有無	①②③なし	
発見の動機	①②③市場からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関紙に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.1915のステッカーを貼付する。 			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対 象車の台数	備考	
ホンダ	GD-HA6	アクティ	HA6-1302418～HA6-1303302 平成13年12月12日～平成14年1月10日	128	③	
			HA6-3300142 平成14年1月10日	1		
	GD-HA7	アクティ	HA7-1302023～HA7-1308804 平成13年9月14日～平成14年1月8日	195		
			HA7-3300278～HA7-3300311 平成13年12月14日～平成14年1月10日	2		
	GD-HH5	アクティ	HH5-1301437～HH5-1306686 平成13年9月14日～平成14年1月9日	93		
	GD-HH6	アクティ	HH6-1300885～HH6-1303256 平成13年9月14日～平成14年1月9日	65		
	GBD-HH5	アクティ	HH5-1516733～HH5-1522346 平成17年7月6日～平成17年12月7日	5,608	②	
			HH5-1600001～HH5-1615187 平成17年12月15日～平成18年12月11日	15,006		
			HH5-3500151～HH5-3500235 平成17年7月20日～平成17年12月2日	85		
			HH5-3600001～HH5-3600230 平成18年2月24日～平成18年12月5日	230		
			HH6-1508495～HH6-1511466 平成17年7月6日～平成17年12月7日	2,972		
			HH6-1600001～HH6-1606768 平成17年12月19日～平成18年12月14日	6,661		
	GBD-HH6	アクティ	HH6-3500044～HH6-3500057 平成17年7月8日～平成17年12月6日	14		
			HH6-3600001～HH6-3600052 平成18年2月21日～平成18年11月1日	52		
			HM1-1300815～HM1-1306956 平成13年9月14日～平成14年1月9日	169		③
			HM1-2300003～HM1-2316359 平成13年8月22日～平成15年3月28日	16,357		①16,357 ③58
	LA-HM1	VAMOS	HM1-2400001～HM1-2404753 平成15年4月10日～平成16年2月26日	4,753	①	
			HM2-1300419～HM2-1303754 平成13年9月19日～平成14年1月9日	50	③	
			HM2-2300010～HM2-2308248 平成13年8月22日～平成15年3月27日	8,239	①8,239 ③74	
	LA-HM2	VAMOS	HM2-2400001～HM2-2402527 平成15年4月10日～平成16年2月23日	2,527	①	
			HM1-1518100～HM1-1522752 平成17年7月6日～平成17年11月29日	4,582	②	
ABA-HM1	VAMOS	HM1-1600001～HM1-1611074 平成17年12月12日～平成18年12月6日	11,074			
		HM1-2500001～HM1-2510555 平成16年2月23日～平成17年11月29日	10,555		①10,555 ②2,084	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対 象車の台数	備考
ホンダ	ABA-HM1	VAMOS	HM1-2600002～HM1-2605574 平成17年12月12日～平成19年1月17日	5,573	①5,573 ②4,940
	ABA-HM2		HM2-1508325～HM2-1510311 平成17年7月6日～平成17年11月29日	1,987	②
			HM2-1600001～HM2-1605104 平成17年12月12日～平成18年12月6日	5,104	
			HM2-2500001～HM2-2505491 平成16年2月24日～平成17年12月1日	5,491	①5,491 ②985
				HM2-2600001～HM2-2602540 平成17年12月12日～平成18年12月1日	2,540
	LA-HM3	VAMOS Hobio	HM3-2000001～HM3-2001836 平成15年4月10日～平成16年2月23日	1,836	①
	LA-HM4		HM4-2000002～HM4-2001431 平成15年4月10日～平成16年2月23日	1,430	
	ABA-HM3		HM3-1104612～HM3-1105554 平成17年7月6日～平成17年12月1日	943	②
			HM3-1200001～HM3-1202432 平成17年12月19日～平成18年12月9日	2,432	
			HM3-2100001～HM3-2102023 平成16年2月25日～平成17年12月1日	2,023	①2,023 ②360
			HM3-2200001～HM3-2200900 平成17年12月19日～平成19年1月13日	900	①900 ②834
	ABA-HM4		HM4-1103025～HM4-1103602 平成17年7月6日～平成17年11月30日	578	②
			HM4-1200001～HM4-1201545 平成17年12月19日～平成18年12月8日	1,545	
			HM4-2100001～HM4-2101684 平成16年2月24日～平成17年12月1日	1,684	①1,684 ②299
			HM4-2200001～HM4-2200649 平成17年12月19日～平成18年12月5日	649	②
	GBD-HJ1		HJ1-1103031～HJ1-1103768 平成17年7月6日～平成17年12月1日	738	
			HJ1-1200002～HJ1-1202276 平成17年12月19日～平成18年12月6日	2,275	
	GBD-HJ2		HJ2-1102101～HJ2-1102658 平成17年7月6日～平成17年12月1日	558	
			HJ2-1200001～HJ2-1201455 平成17年12月19日～平成18年12月7日	1,455	
		(計16型式)	(計3車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成13年8月22日～平成19年1月17日	(計129,159台)

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。